

予算決算常任委員会報告

令和 7 年 6 月 2 4 日

ただ今から、予算決算常任委員会の委員長報告を行います。

令和7年6月11日午前10時00分から美浜町議会全員協議会室において、委員13名及び議長の出席のもと本委員会を開催し、6月6日に本委員会に付託されました議案6件の審査を行いました。

当日は説明のため、町長、副町長、教育長、両統括幹、各課長及び会計管理者の出席を求めました。

また、職務執行のため議会事務局長を出席させました。

以下、本委員会で審査された主な点について申し上げます。

議案第38号 令和7年度美浜町一般会計補正予算（第1号）

総務課長より説明を受けた後、質疑に入りました。

<議会費から総務費>

質疑：エネルギー環境教育体験館整備事業1,017万9千円であるが、これはこどもの遊び場整備事業ではないのか。

回答：これは遊び場整備事業とは別で、きいばすを高度化するための基本設計委託料である。

<民生費から商工費>

質疑：福祉支援センターあいばる管理運営事業106万2千円は、入浴施設の改修工事費用ということだが、普段いる場所の増設とか屋外の遊び場など、一般質問等で指摘した他の不備な事柄については、どうされる予定なのか。

回答：今回の予算は、かねてよりの課題であった給湯設備の整備であり、その他の事柄については、今後内容を精査して対応する。

質疑：社会福祉総務費の一般経費の中の、障がい福祉事業参入商圈調査・計画作成業務委託料713万9千円であるが、どのような内容か。

回答：障がい福祉基本計画策定時の調査で、施設入所やグループホーム利用の高いニーズがあり、重点施策としてグループホーム等の生活基盤の整備に取り組むことにしており、その検討を進める費用である。

質疑：未来に繋ぐふくい農業応援事業906万7千円であるが、これは若手農業者に対する助成金ということだが、個人経営の農業者への補助制度はないのか。

回答：現状の制度は、認定農業者以外では、集落の中で農業に従事する3人以上のグループへの補助制度はある。

質疑：海岸メンテナンス事業3,700万円は、坂尻海岸のメンテナンスということだが、特に千鳥苑近くの階段が危険な状態である。いつから工事を始めるのか。

回答：昨年度から離岸堤用の消波ブロックの製作を行っており、令和8年度は離岸堤の改修を行い、この階段は令和9年度に改修したいと考えている。

質疑：海岸堤の亀裂は大きくて危険であり、長くは放置できないと思う。仮復旧できないのか。

回答：改修までの間、鉄板を敷くなど危険がないように対策を施す。

質疑：若狭みはま魅力発信事業１，１６７万７千円の中に、三方五湖周遊型旅行商品造成業務委託料４５０万円があるが、具体的にはどういった内容か。

回答：三方五湖周辺の滞在型観光を促進するため、レイクセンターを含む「町内周遊観光をした上で町内の民宿を利用する旅行パッケージ」の造成を、１５社ほどの大手旅行会社に委託するものである。

質疑：同事業の中にある、オンライン予約販売業務委託料２２０万円はどういう内容か。

回答：民間のオンライン予約サイトに、電池遊覧船の乗船予約ができるメニューを追加して貰う事業であり、レイクセンターを全国的にＰＲできることになる。

質疑：同事業の中にある、オウンドメディア運営支援業務委託料４９７万７千円はどういう内容か。

回答：オウンドメディアとは自社で管理する媒体の意味で、例えば町のホームページ・観光ホームページ・ＳＮＳ等の発信メディアのことで、これらの運営支援を業務委託する費用である。特にレイクセンターのホームページのリニューアル、予約システムの構築、英語ページ作成、ブログ記事の更新、そしてサイト運営も委託したいと考えている。

質疑：当初予算において、ＳＮＳマーケティング調査委託５００万円程度、ホームページ関連の委託５００万円程度が計上されているが、このオウンドメディア運営支援事業は、それらとは違った戦略なのか。

回答：当初予算は、これまで運用していたＳＮＳプログラムの改修で、今回のオウンドメディア運営支援業務については、レイクセンターの経営強化戦略に基づく必要経費で、ホームページ全体のリニューアル等である。

質疑：レイクセンター運営事業３８２万７千円が別に計上されているが、これらのＳＮＳ関連事業はレイクセンター運営事業には含まれないのか。

回答：レイクセンターを含めた町全体の観光振興・魅力発信ということで、レイクセンター運営事業とは別に予算計上している。

質疑：にぎわいゾーン活性化イベント開催事業補助４００万円であるが、前年度は８５０万円で今年度減額された理由は何か。

回答：昨年度は鯖サミット等があり、大きな費用が必要であった。今年度は、大きな費用を要する大きなイベントを散発的に開催するのではなく、小規模なイベントを数多く継続的に開催して、一次産業や商工業の方の出店をやりやすくし、チャレンジや起業に結びつけることができないかと考えている。

質疑：記者会見の説明で、毎月イベントを開催するとの説明があったが、職員の負担が増大する懸念があり、例えば有償ボランティアをお願いする等の計画はしているのか。

回答：既存の小規模イベントを活用して開催するということなので、そういった

ボランティアをお願いする考えはない。

質疑：例えば昨年の休日イベント等で、出勤している職員は毎回同じ人の場合が多いと感じるが、その振替休暇はしっかり取得されているのか。

回答：休日に出勤した場合は、８週以内になるべく振替休暇を取得するように周知させている。しかし非常に厳しい面があることは否めない。

まちづくりの方向性として、イベントによる盛りあがりを目指しており、僅かではあるがポイントによる還元等の手法も始めている。

職員の負担軽減のため有償ボランティア的にもっと費用を出したらどうかという意見等があれば、それらを含めて検討していきたい。

質疑：町観光協会等育成補助１，２２４万２千円であるが、この補助の内容は何か。

回答：観光の営業力の強化のため、観光協会で専門の職員を１名雇用することになり、その人件費として、町が８００万円を補助する。この職員は町がレイクセンターで引き受け、レイクセンターの強化にもつなげていく。

＜土木費、教育費＞

質疑：小倉山山頂公園整備事業３，５７８万３千円であるが、国道２７号線側には樹木が茂り景色が見えないが、伐採する計画はないのか。

回答：今回の第二期工事の終了後に、天王山と国吉城の方向の樹木を伐採する。

質疑：町道佐柿・郷市線道路改良工事２，７００万円であるが、今回どの辺りまで整備するのか。

回答：現在、小倉住宅付近から高木新光堂辺りまでを整備したが、今年度はそこから耳川右岸までの３５０ｍを終了する計画で進めている。

質疑：町道川東４２号線道路改良事業２００万円であるが、この道路は給食センターと中学校の間の道路のことだと思うが幅員は何ｍか。

回答：給食センターから木野と安江を結ぶ町道までの１４０ｍの道路であるが、幅員は全幅５ｍである。

質疑：軽井沢との交流推進事業３９５万８千円であるが、この事業の目的は何か。

回答：軽井沢町の旧三笠ホテルの創業者は佐柿出身の方で、そのホテルがリニューアルされるのを機に、両町の歴史を繋げる形のものを展示させて頂きたいと考える。また例えばデジタルサイネージ等を設置させて頂き、美浜町の紹介等をして観光客の誘客にも結び付けたい。

質疑：美浜町と軽井沢町は全く別物で、特に軽井沢を訪れた人が美浜に足を運ぶとは考えにくく、これだけの費用をかける意味があるのか。

回答：三笠ホテルでは年間入込客数を７～８万人と見込んでおり、十分有意義だと考える。軽井沢には年間８００万人の観光客が来ているが、更に増やすという美浜と同じ思いを持って、重要文化財の旧三笠ホテルをリニューアルする。北陸新幹線が開通したので、軽井沢へは敦賀から直通で行くことができる。高原地域の軽井沢と海浜地域の若狭湾という相乗効果が期待できると思う。

＜歳入全般＞

質疑はありませんでした。

議案第 39 号 令和 7 年度美浜町診療所事業特別会計補正予算（第 1 号）

健康福祉課長より説明を受け、質疑に入りました。

質疑はありませんでした。

議案第 40 号 令和 7 年度美浜町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号）

住民環境課長より説明を受け、質疑に入りました。

質疑はありませんでした。

議案第 41 号 令和 7 年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）

健康福祉課長より説明を受け、質疑に入りました。

質疑はありませんでした。

議案第 42 号 令和 7 年度美浜町上水道事業会計補正予算（第 1 号）

上下水道課長より説明を受け、質疑に入りました。

質疑はありませんでした。

議案第 43 号 令和 7 年度美浜町下水道事業会計補正予算（第 1 号）

上下水道課長より説明を受け、質疑に入りました。

質疑はありませんでした。

以上の審査を終え、委員会採決を行いました結果を報告いたします。

議案第 38 号 令和 7 年度美浜町一般会計補正予算（第 1 号）

は賛成多数をもって承認することに決しました。

議案第 39 号 令和 7 年度美浜町診療所事業特別会計補正予算（第 1 号）

は全員賛成をもって承認することに決しました。

議案第 40 号 令和 7 年度美浜町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号）

は全員賛成をもって承認することに決しました。

議案第 41 号 令和 7 年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）

は全員賛成をもって承認することに決しました。

議案第 42 号 令和 7 年度美浜町上水道事業会計補正予算（第 1 号）

は全員賛成をもって承認することに決しました。

議案第４３号 令和７年度美浜町下水道事業会計補正予算（第１号）
は全員賛成をもって承認することに決しました。

以上のとおり審査を終了し、１１日午後１時５６分本委員会を閉会しました。

これをもって、予算決算常任委員会の委員長報告を終わります。